

Caアスパルテート製剤

※※ **L-アスパラギン酸Ca錠200mg「トワ」**

《L-アスパラギン酸カルシウム錠》
 CALCIUM L-ASPARTATE TABLETS 200mg “TOWA”

日本標準商品分類番号 873214

貯 法：室温保存
 使用期限：外箱、ラベルに記載

承認番号	薬価収載	販売開始
※※ 22500AMX00420	2013年6月	2006年7月

【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

- 1) 高カルシウム血症の患者 [高カルシウム血症を増悪させるおそれがある。]
- 2) 腎結石のある患者 [腎結石を増強させるおそれがある。]
- 3) 重篤な腎不全のある患者 [カルシウム排泄低下により、高カルシウム血症があらわれるおそれがある。]

【組成・性状】

1錠中の有効成分	L-アスパラギン酸カルシウム水和物(無水物として)……………200mg (Ca ²⁺ : 1.3mEq)		
添加物	トウモロコシデンブ、アルファー化デンブ、カルボキシメチルスターチNa、ステアリン酸Mg		
性状	白色の素錠		
識別コード	本体	Tw174	
	包装		
外形	表	裏	側面
錠径(mm)	8.5		
厚さ(mm)	4.5		
質量(mg)	265		

【効能・効果】

低カルシウム血症に起因する下記症状の改善
 テタニー、テタニー関連症状
 下代代謝性骨疾患におけるカルシウム補給
 骨粗鬆症、骨軟化症
 発育期におけるカルシウム補給、妊娠・授乳時におけるカルシウム補給

【用法・用量】

アスパラギン酸カルシウムとして、通常成人1日1.2gを2～3回に分割経口投与する。
 なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）
 - 1) 活性型ビタミンD製剤を投与中の患者 [高カルシウム血症があらわれやすい。]
 - 2) ジギタリス製剤を投与中の患者（「相互作用」の項参照）
 - 3) 高カルシウム血症があらわれやすい病態の患者
2. 重要な基本的注意

長期投与により血中及び尿中カルシウムが高値になることがあるので、長期投与する場合には定期的に血中又は尿中カルシウムを検査することが望ましい。
 また、高カルシウム血症があらわれた場合には投与を中止すること。

3. 相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ジギタリス製剤 ジゴキシン ジギトキシン	ジギタリス中毒（不整脈、ショック）があらわれることがある。 定期的にジギタリス中毒の有無、心電図検査を行い、必要に応じてジギタリス製剤の血中濃度を測定し、異常が認められた場合には、ジギタリス製剤の減量若しくは投与を中止する。	ジギタリス製剤の作用を増強する。
テトラサイクリン系抗生物質 テトラサイクリン	テトラサイクリン系抗生物質の作用が減弱するおそれがある。 同時服用を避け、併用する場合には1～3時間以上あけるなど注意する。	カルシウムイオンはキレート化によりテトラサイクリン系抗生物質の吸収を阻害する。
ニューキノロン系抗菌剤 塩酸シプロフロキサシン ノルフロキサシン トスフロキサシン トシル酸塩水和物	ニューキノロン系抗菌剤の作用が減弱するおそれがある。 同時服用を避け、併用する場合には、2時間以上あけるなど注意する。	カルシウムイオンはキレート化によりニューキノロン系抗菌剤の吸収を阻害し、血中濃度を低下させる。

4. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
 副作用が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

	頻度不明
長期投与	高カルシウム血症、結石症
消化器	腹部膨満感、胸やけ、軟便
その他	頭痛、心窩部不快感、発疹

5. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

6. 小児等への投与

低出生体重児、新生児、乳児には投与しないことが望ましい。
 [3週齢以下の幼若マウス及びラットにアスパラギン酸として250mg/kg以上を投与すると、視床下部弓状核に病理組織学的変化を認めたという報告がある。]

